

平成28年度 長岡市三島郡 算数部 活動報告

部長 長尾 昭浩

1 研究主題 「思考力・表現力をはぐくむ算数的活動・数学的活動の工夫」 ～ 学び合い活動を通して ～

2 主題設定の理由

平成28年度「学校教育の重点」では学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進を重点項目とし、すべての教科等で見通し、振り返りの学習活動や目的を明確にした児童生徒の学び合いを取り入れるなど、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びを重視し、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりを推進している。

新学習指導要領解説によると、思考力・表現力を育てるために、「言葉や数、式、図などを用いて考えたり表現したり、互いに自分の考えを表現し合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れること」とある。つまり、思考力・表現力を育てるためには、学び合う指導を充実させる必要がある。学び合いは、互いに自分の考えを説明・表現し、その考えを交流することで自分の考えの良さや誤りに気付いたり、筋道を立てて考えたり、よりよい考えを作ったりすることが期待できる活動である。好奇心や疑問を持たせ、数学的活動を工夫したりすることで思考力・表現力が育まれると考える。

そこで、本研究では、算数的活動・数学的活動の工夫を学び合いを重視した授業展開の工夫ととらえ、上記の研究主題を設定した。

3 主な活動について

(1) 総会〈小学校91名，中学校81名 計172名参加〉

① 期 日 4月21日(木) 15:30～ ② 会 場 宮内中学校

③ 内 容 事業計画・研究主題等の検討 組織確認

(2) 常任委員会

① 期 日 5月25日(水) 15:00～ ② 会 場 宮内中学校

③ 内 容 研究主題の確認 講演会の講師選定 役割分担

(3) 講演会

① 期 日 11月8日(火) 15:00～ ② 会 場 脇野町小学校

③ 講 師 上越教育大学 教授 布川 和彦 様

④ 演 題 「算数科におけるアクティブラーニング」

4 講演会の概要

脇野町小学校の食堂を会場にし、約50名の会員が参集した。布川先生から具体的事例をもとにしたご講演をいただいた。現場の教員は児童の実態に即し、子供の様相で語れる理論がほしくなるものだが、まさしくぴったりのご講演であった。

主体的な学びを対話的な学びによって深い学びへとしていく営みこそがアクティブラーニングといえるものであること、子供がわかったと思ったとき、その「わかった」という「納得の内容」を明確化する必要があること、そしてその「納得の根拠」を学習者が当然と思っているかの確認が必要であること等、大変わかりやすく教えていただいた。そして、深い学びとは、答えのない課題に直面したとき、「頭の中の道具箱」から、さまざまな教科等で学んだ見方・考え方を自在に引っ張り出し、自分なりの解答を導き出せる力にまで高めるような、学びの在り方であり、学習者である子供たちと学習対象との深いかわりが重要となるとお話いただいた。

小学校対象の講演ではあったが、中学校の数学科教員も何人か参加しており、中学校にも大いに通ずるよい講演だったという感想も多く、充実した講演会であった。